給排水衛生LPG及び消火栓スプリンクラー設備工事 特記仕様書

## A 配管材料

イ 給水管及び揚水管は亜鉛鉄鋼管の内面にビニールライニングしたものとし（低圧ロ管ビニル管）エルボ等は鋳鉄製とする。

ロ 屋内外排水及び雨水管は硬質ビニル管（JIS-K-6741参照）とし接手はDV接手とする。

ハ 通気管も排水に準ずる。

ニ LPG供給管は亜鉛鉄鋼管（JIS-G-3452）とし接手はJIS規格品とする。又エンクリート埋設部はエスカルトコート塗付とする。

ホ 大便器、小便器、洗面器等の排水接続ケヤ部の排水管は硬質ビニル管とする。管のコンクリート埋設部はエスカルトコート塗付とする。

ヘ 雨水管は特記のない限り本塩ビとし鋼ダス管（JIS-G-3452）とし接続は専用継手とする。又屋内露出配管については仕様書工事による。

ト 消火栓設備配管は亜鉛鉄鋼管（JIS-G-3452）とし接手はJIS規格品とする。

チ ベントキャップ等屋外に取付もの口ビニル製とする。

## B 器具及び金物

イ 住宅器具（洗面器及び水栓類）は東陶又は同等品とする（水栓ハンドルは陶器とする）。

ロ 大便器はエンクリート埋設部とエンクリートエスカルト塗付のものとする。

ハ 排水金具類はJIS規格品又はHASS規格品とする。

ニ マンホールは全て鉄蓋所要製（中荷重型）とし、格子蓋は耐荷重型とし樹脂の表現を埋土面、塗装するものとする。HASS規格2種製品とする。

ホ 受水槽、高架水槽、貯水槽、貯水槽等はストレーナー付、ボールタップ付（樹式ストレーナー付とし、ボールはビニール製とする。

## C ポンプ、クンクル及び消火栓

イ 消火用ポンプは横型ディーゼルとしエンジン製品を使用する（KP-U型）

ロ 全上所屋根設置はたき製品とする。全て検査合格品とする。

ハ 屋内消火栓Boxは2段式両抽型とし中に収納するホースは国検合格品とする。

ニ 高架水槽はFRP（ガラス繊維強化プラスチック）製とし内外塗装とする。基礎はコンクリート200H、コンクリート厚さ1400Hとする。

ホ 消火栓B及び連結口は直径65又は65ミリ製品とする。

## D 塗装及び鉄蓋

イ 全所塗装はコンクリート現場打とし蓋はコンクリート製2つ割とする（別図参照）。

ロ インポート塗装はコンクリート現場打とし蓋は鋳鉄製中荷重、防臭型、鍵はマンホールとしHASS規格品の2種製品とする。（別図参照）

ハ バルブボックス及び散水栓ボックスの周囲はコンクリート蓋とする。

ニ 金属蓋類はステンレス製ドネジ、ルーフドレンはステンレス製ドネジ及び水抜製品とする。

ホ 受水槽（消火用）のマンホール蓋は内径600φ以上とし、かぶせ型、鍵付とする。

## E 弁類

イ 給水、揚水系統バルブは耐水道直圧型は全てJIS-10kg/cm²型、仕切弁とし高架水槽以下はJIS-5kg/cm²とする。又消火栓、使用のバルブは全てJIS-10kg/cm²とする。

ロ 口径50φ以下については配管型、65φ以上は鋳鉄製要部配管フランジ型とする。逆止弁は全て10kg/cm²スイング式とする。

ハ LPG用バルブはテフロンシートとし厚さ工機製品とし、ガスコック類は伊藤工機、関西ガスKK製品とする。

ニ LPG集合ヘッダー用器具及び附属品は伊藤工機又は岩谷産業製品とする。

ホ ガスメーターはVsとし左端又は全面製とする。

## F 給湯機器、その他

イ 瞬間湯沸器は全て想湯型とし壁掛型とする。メーカーはKKパロマ又は全等品以上とする。

ロ 浴槽用ボイラーは開放式とし、ヒーター上に湯はとし、安全装置（生ガス流出防止、安定燃焼の確認、故障作動止、異常温度、異常圧力防止）付とする。又ボイラー煙突は天井内配管とし屋外に出すこととし、3m以上とすること。天井内は若干保温要、屋外他付とする。煙道はSUS-27t 0.5とする。

ハ 浴槽はポリバスニューエイト（ポリエチレン）とし、保温部分は保温施工のこと。又蓋付とする。メーカーは伊藤又は全等品以上とする。

ニ 汚水処理槽は既設品とし撤去、再利用の時は特記のこと。

## G 施工上の注意事項

イ 屋外の給水管の土埋設深さは全て土かぶり450φ以上とする。

ロ 配管支持金具の見え掛り部は黒塗装のOP仕上げ、隠ぺい部は錆止め仕上げとする。

ハ 支持間隔については天井裏より管径の1倍65φ以上は25m以内に1カ所、50φ以下は20m以内に1カ所とする。又直管については金属管の場合は1階ごとに1カ所、他に管の場合は2カ所とする。

ニ 屋内配管の場合で天井、壁等を貫通する穴の部分は鉄パイプ（ガラスクリート（鉄管））を取付ること。マスリーブ100φ以上は補強を行う。

ホ 配管に当たっては、ハンマーカッター及びエルボの使用を禁ずる。

ヘ 排水に流入する給水、ガス管は埋設、壁下に対する防ステンレス管、フレキシブル継手を使用のこと。メーカーは大阪ステンレス製、東京ステンレス製、東京フレキシブル製とする。

ト 排水用の上水埋設管は上部コンクリート内の配筋より鉄筋の仕切で等距離とし配筋は2M以内とする。

チ 金属の異種管を直結する場合は若干の電位の差異の差が生じ腐蝕より150φ以上は絶縁継手を使用すること。

リ 給水管の接続部は使用する接合材はシールテープ又はルメシールTWを使用のこと。

ヌ 消火栓ポンプの吐出側は圧力試験用流量計を取付ること。又消火設備ポンプ吐出側はフレキシブル継手1000φを取付ること。

ル 双口消火栓の取付方法については埋管を打合せのこと。又消火設備については特記による。

ヲ 配管終了後、保温完了後のち下記のテストを行うこと。保温完了後の場合は機器設置以外の所については再度検査のこと。

① 給水、揚水系統　10kg/cm²の水圧テスト、30分間

② 排水系統　通水テスト

③ LPG供給管　800mmHgの気密テスト×10分間

特記　1. 配管工事の本数量は常識期日を請求すべき事項のこと

2. 消火設備、電気工事は建築基準法第129条の2の1項及び建設省告示5183号に適合する構造とすること。

## H 配管保温工事

イ 配管及機器類の保温工事は下記の通りとする。

① 範囲　給水管及び揚水管　土中コンクリート埋設部、水槽内を除く全て

排水及び排煙管　天井、壁内の外

② 仕様（使用グラスウール保温材は40kg/m³とする）

a 給水管、揚水管、排煙管系統

屋内露出部　◎20mm（Gw）保温筒＋エルシロ＋亜鉛鉄板

屋内見え掛部　◎20mm　〃　〃　〃　＋鉄線＋原紙＋綿布＋目止ペイント塗り＋指定色のP2回塗り

屋外露出部　◎25mm　〃　〃　〃　＋鉄線＋エスカルトコート＋鉄線＋亜鉛鉄板（鉄板かつ重ね部は重ね部は巻き部、曲り部はハの字とし、雨水は流れる様に）

（塗装は半艶付とする）＋錆止ペイント＋指定色のP2回塗り

ロ 排水、通気、LPG供給管、雨水管の見え掛部は指定色のP仕上げとする。但し雨水管の室内部分は全て上記仕様とする。

ハ 高架水槽は保温を行うこと。

ニ 消火栓管は全て給水管に準ずる。

## I 一般事項

イ 給水引込は行う町側入管、分岐引込金物を使用の全て別途工事とする。但し竪木器Box、内装工事は本工事とする。（竪木器ボックス550×850以上）

ロ 本工事施工者は善良な第一級建築士、主要技術者は建築士有資格者、工事工程表、施工図を提出し承認後着手のこと。未承認で施工した場合は施工者の自費で撤去、再施工を行う。

ハ 本工事完了後はすみやかに竣工図を作成し提出、数量、数量内訳のこと。

ニ 仕様書の図面等に食い違いの疑義が生じた場合は係員の協議の上、係員の指示による。

ホ 本特記仕様書に記載されない事項は建設省営繕局監修建設省工事共通仕様書及び機械設備工事共通仕様書（S46年度版）

名称　熊山町寿会新築

図面　給排水設備図

| 凡例 | | 変更 | 年 月 日 | | DATE | CHECK1 | CHECK2 | TITLE 熊山支所解体工事 | | No. |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | No. | PL | DR | NAME 給排水設備図1 | SCALE A2版 71% A3版 50% | K—98 |